



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 要人往来（政府高官・民間）訪沖（大河原参事官訪沖（43.4.7～10）  外務省外交史料館レファレンス番号：H220391）
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(2)No.1   公開日：平成22年11月26日   外務省外交史料館管理番号：A'.3.0.0.7-1(14)   CD・DVD番号：H22-004
Issue Date	
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43268">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43268</a>
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

大河原 春孝官 訪 沖

( 43.4.7 ~ 10 )

次官

官署長  
北平局長  
北平局長  
北平局長

極秘

南方班

大河原参事官出張報告(沖縄関係)

大河原参事官は、4月7日より10日までの間、沖縄を訪問。カーペンター民政官、松岡(その後台湾韓国を訪問した。)

琉球主席、山川立法院議長、安里社大党首長、上原全軍部首長等と会議。面談者の嘉年納基地、糖製糖等を行なう。たか、注目する。発言次の通り。(その後台湾韓国を訪問した。)

1. カーペンター民政官

(1) 日米間の意志疎通問題

(注) 注より、主席公産、基、10ト、水、操業問題等、承諾問題に於いて、米側のintentionは、言いかたからして、その発表のタイミング等に関し、USCARの立場の当然の連絡の交渉(も満足すべき状態に可く。

GA-6

外務省

1097

2

そのために米側の意図を諒解せしめる結果を招くことには感しる旨述べた(のには)

先方より事情は了解するとの、今後連絡を密にすべく努力する(旨述べた。)

(2) 布令116問題

米側より、日本側の事情は了解している。

新布令に212は、一部に伝えずとも、5月中旬までに発表ということに不可能

と思ふ。米側より、"中"にせよ、草案が固まれば、発表前に、日本政府と協議する。

(7-1) 高等所務官が本件を誰、何事、日記記者会見

冒合でとりあつる可能性を否定したとの8日付沖縄文の、転手に出達した。

GA-6

外務省



「ソ連との戦争の不安」でなく、B-52の  
核武装問題、でなく(4)騒音と。(10)

B-52の積込で113通常煤陣<sup>(1:53標準中の計)</sup>に  
乗る。Kの意味で113 B-52が  
起因するの 機嫌に云々は

核煤陣を積込で113万。Kの中全部  
かすた、5)安全と7あるとさ之も云之。

3. 西銘 自民党市長候補。

(1) 汚職問題。

汚職問題は → 千七百、巨額、  
~~松岡主席~~ 松岡主席のリーダーシップの  
欠点によるものである。党知事

自分(西銘)<sup>(副主席)</sup>は4月初めに小塚に申し  
早く辞表を提出すとか、保守党にとつて

小塚本人にも「とも言う」を勧告し、小塚  
が辞表を提出し、行つたが、松岡  
信博が加入

主席が、中を押さえていたため、2つ  
半能に5つ。

(2) 選挙選挙の見直し。  
自分(西銘)は石垣島出身で、芝居

の票、大部分と4とと確信があり、南部  
では、~~半~~票の半分以上、北部では、

1つ、<sup>(111)</sup>半分の票をとることと期待  
して、1つ、問題は中部7、二地域7

どの程度の票をとるか心配して、  
活動票に開き、自分と屋良候補

(野党系候補)は、同程度の票を確保  
できると考えている。従って、全般的

に、勝つて2つと期待も(希望)して

(3) 国政参加。

この上野理に含める

安井試案はナンセンスである。選挙に  
使うためには、もっと強力な手段を考へ

受け中は所々所々  
衆参両院併せて2人というのか1番

困る。その指界には、野党を1名出すという  
考案があるようにだが、与野党各2

本上は議院に発言の機会を与えようとする  
体制をつくる事か大切であり、その意味で、  
と云ふ。野党に十分期待を与えることか735に於て  
~~(1) 代表の人数は217~~  
衆参両院併せて5名、参議院2名という  
数の案である。(2) 選任方法にか

は、立法院のその構成メンバーの比率に  
応じて決めるのが良いと思う。

付  
(別途、本上からの特別員と国会に際  
国政参加の種に於ては、中絶からの代表  
が、~~衆参両院併~~

送るべき 閣内員と云ふ

者と2、直任者につき特別員の一致した  
意見は次の通り

- (1) 代表者1名の場合 安室社大党首議長
- 2名 " 安室、松岡 理主序
- 3名 " 安室、松岡、加え  
太田政作前主席  
湘長 理主序内  
代表。また付

~~湘長は~~

(2) 湘長は、形骸中長でも、国政参加の  
代表にても、何れも二つ可能を持つ

113は、本上の意味でのリサーチに欠け  
ている。

4. 安室社大党首議長

- (1) 閣内委員会は、~~日本政府は~~  
日本政府は、閣内委員会は  
高等弁務官に付属するものではないと主張

右の場合の議論  
本日の議論

(7) 113 如 ~~議論~~ 中絶の立場から  
 24 中絶。環政の高等弁務官の F-1

あり以上。環政の任命が代表は  
 高等弁務官に對する独立性は

あり。従つて。諮問委員会は高等弁務  
 官に從属するものとして議論は

通用し得ない。

(2) 即時返還論。

自分(安里)は。即時返還論を唱へて  
 113 如。自分から即時という場合の即時。

は。今日。只今 ~~の~~ 瞬間、という意味で  
 113 如。何年後に返還する方針を

今から ~~の~~ 暫定期間に。返還  
 準備を ~~する~~ する ~~こと~~ である ~~こと~~。暫定期間を

予定 12 発進予定あり。

5. 嘉年納村総務課長

(1) B-52 發進情況  
 B-52 18. 毎日 ~~午前~~ 午前 10 時、午後 3 時。

6 機を  
 午後 10 時の 3 回 出撃する。B-52 出  
 撃の際には。B-52 機 1 機に對して

給油  
 KC-135 (輸送機) 1 機の割合で 7 機の  
 滑走路(嘉年納飛行場)に滑走路の

2 本あり。から發進する。 ~~KC-135~~  
 B-52 1 機に對して 16 機に對して 35 個計  
 (滑走路の場合には 18 個に對して 35 個計)

5/1 個の爆弾を搭載して行く。KC-135  
 の同時發進は。B-52 出撃機に

積んで置く。十分燃料を積んで離陸  
 出来る。T-28 機は離陸後空中給油を

行方不明と推定する。  
(参考: 嘉年納村の消防署の望遠鏡)

より、B-52の発進状況は午にとりまに  
判るか、写真撮影と行方不明と。T-52に

MPIにこの理由。この日は嘉年納村の  
何処かの飛行場の撮影と行方不明

は、午上の各機材の状況もB-52の客貨機の場合も同様理由。

(2) 騒音問題及び住戸の不在。

騒音は、~~騒音~~から一番内地の  
KC-135である。

また、住戸の不在の中心は、墜落事故  
及び車事故による燃焼事故である。

以前は  
KC-135の墜落により大火災が発生した  
状況から住戸の不在の一つの理由である。

△この英米  
本立の英米  
飛行場  
音に  
音に  
音に

(この英米) (参考: 嘉年納村の)  
Commander James H. 是般の  
May Johnson

想談会による調査 - 小谷軍一は、住戸  
の不在を認め、上り有差がある旨述べ

であり、西谷、松田両氏とも、B-52の

は、本日は峠を越して下り、11月の翌年  
には直接関係なく、直述して、  
55機を撃つことはない

上原(全軍) /  
本原(軍) 軍長の本件に同日談話に  
ついては、前記を参照。

参考: KC-135の一部  
は、台湾の基地へ移ると  
いう噂あり。これは、B-52も台湾へ

移ると言われることも云々である。  
(この英米) 台湾防衛隊に言及。

情報  
未確認。KC-135は、台湾の  
清見  
基地



へ移駐してくるという話がある旨述べた  
11月12日。USDC - United States

TAIWAN Defence Command - 2008. 2. 20  
11月12日。一切言明された旨述べた。

更にB-52移駐問題については、上記駐在官  
兼参事。 (1) 台湾は中共のレーダーの <sup>防衛</sup> range内  
全島

にあり。その場合(1) B-52 <sup>を常駐させるには</sup> ~~は~~ ~~も~~ ~~高~~ ~~空~~ ~~軍~~  
参考資料として、(2) B-52と台湾の

おて(2)の場合には、事前には国府政府の同意  
を得る必要があり、政治的にもデリケートな

問題であり、その点から、B-52の台湾移駐  
は参考資料の旨述べた。